

# クロアチア情勢

## 主な出来事

2015年5月

### 内政

- 1日、オクチャニ(当国南部)において、1995年5月1日に開始された「閃光」作戦の20周年記念式典開催。グラバル＝キタロビッチ大統領、ミラノビッチ首相、レコ議会議長らが出席。
- 7日、政府は、「嵐」作戦20周年記念式典のための政府委員会発足を閣議決定。右委員会メンバーは、グラバル＝キタロビッチ大統領、ミラノビッチ首相、レコ議会議長、コトロマノビッチ国防相、オストイッチ内務相、マティッチ退役軍人相、ロブリッチ・クロアチア国防軍幕僚長のほか、「嵐」作戦に従事したスティペティッチ、ゴトビナ、マルカチュおよびマレコビッチの4名の退役将軍を加えて構成される。
- 8日、イストラ県議会は、パジン(当国西部)において「対ファシズム戦勝70周年記念式典」を開催。グラバル＝キタロビッチ大統領、ミラノビッチ首相らも出席。
- 9日、クロアチア政府および議会の後援の下、ザグレブにおいて「対ファシズム戦勝70周年記念式典」開催。ミラノビッチ首相、レコ議会議長(共に与党社会民主党(SDP)所属)ら政府要人が出席。
- 13日、クロアチア政府は昨年の東部スラボニア地域での洪水発生1周年を追悼し、被災地の1つであるゲーニャ町(当国東部)にて閣議を開催。昨年の洪水被害による住宅再建数に関する報告書が提出された。
- 14日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、塙ブライブルグ、スロベニアのマツェリおよびテズノを単独で訪問し、1945年5月に各地で殺害されたクロアチア人犠牲者(「クロアチア独立国(NDH)」軍兵士および市民)を追悼。
- 15日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、国土(homeland)安全保障に関する大統領評議会設立を決定。
- 15日、ミラノビッチ首相およびレコ議会議長は、スロベニアのテズノを訪問し、1945年5月に同地で殺害されたクロアチア人犠牲者(同上)を追悼。
- 16日、塙ブライブルグにおいて、1945年5月にパルチザンにより殺害された「クロアチア独立国(NDH)」軍兵士および市民の追悼式典開催。右追悼式典は、市民団体「ブライブルグ名誉団」の主催で、グラバル＝キタロビッチ大統領およびチョービッチ・ボスニア・ヘルツェゴビナ大統領評議会メンバー(クロアチア系)の後援の下開催された。(右式典にグラバル＝キタロビッチ大統領は欠席。)

- 17日、クunjitch・「クロアチアの夜明け」党首(前回の大統領選挙立候補者)が、同党党首に再任。
- 20日、「嵐」作戦20周年記念式典のための政府委員会は、本年の式典を8月5日クニンで開催することを決定。また、8月4日にはザグレブにおいて軍事パレードを実施する。
- 22日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、第1回となる「国土安全保障大統領評議会」を開催。今後、①既存の国家安全保障システム、②長期的な国家安全保障戦略、③クロアチア軍の近代化、④危機管理、の4分野を分析するためのワークショップを開催することを決定。
- 22日、カラマルコ・クロアチア民主同盟(HDZ)党首(最大野党)が、ミラノビッチ首相(SDP党首(最大与党))宛に書簡を発出。右書簡において、カラマルコHDZ党首は、ミラノビッチ首相との2大政党党首間協議の実施を要請。
- 25-26日、グラバル＝キタロビッチ大統領(25日)、ミラノビッチ首相(25日)およびプシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相(26日)は、外務・欧州問題省が開催した第2回クロアチア名誉領事会議に併せ世界各地から来訪したクロアチア名誉領事39名と意見交換。
- 28日、クロアチア軍創設24周年記念式典開催。ミラノビッチ首相、コトロマノビッチ国防相らが出席。
- 28日、退役軍人省前で座り込みの抗議を行っている退役軍人団体が、首相府前で抗議活動を実施。事態收拾のため機動隊も出動する事態となった。
- 29日、クロアチア議会は、「祖国防衛戦争」下の性的暴力被害者の権利法案を採択。
- 30日、クロアチア議会において同議会主催の「議会の日」記念式典開催。グラバル＝キタロビッチ大統領、レコ議会議長、メシッチ元大統領、バンディッチ・ザグレブ市長等が出席。
- 30日、グラバル＝キタロビッチ大統領は大統領就任100日を迎えたメッセージを発出。また、同大統領の特別経済顧問にニキツァ・バレンティッチ元首相(HDZ政権時の1993-95年)を指名。
- 31日、ヨシポビッチ前大統領(元SDP出身)が新党「クロアチアの前進-進歩同盟」を結党。党首に同前大統領が就任。また現議会議員であるクレガル議員(無所属)が入党したため、本新党は議会内で野党となった。

## 外交

- 2-5日、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相がイラクおよびクルディスタン地域を訪問。バグダッドにおいて、マアスーム・イラク大統領、ジャアファリー外相、アブドゥルマフディ石油相、オベイディ国防相、ヌーリー女性問題担当相と会談。またエルビルにおいて、バルザーニー・クルディスタン地域政府(KRG)首相、シンディKRG計画相と会談し、クルディスタン地域にあるバハルカ避難民キャンプおよびアンカワ避難民キャンプを訪問。
- 5-6日、ロレンツィン観光相がイランを公式訪問。同国の旅行業関係者および航空業関係者らと意見交換。
- 7日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ポーランドのグダンスク郊外で開催された「第2次大戦戦勝70周年記念式典」に出席。

- 7日、レコ議会議長は、「議会情報・安全保障フォーラム」出席のためウィーンを訪問。
- 10-13日、グラバル＝キタロビッチ大統領がアフガニスタンを公式訪問。ガーニ・アフガニスタン大統領およびアブドゥラー行政長官らと会談。
- 11日、レコ議会議長は、「地中海諸国のためのEU加盟国議会議長サミット」参加のためリスボンを訪問。EU加盟国におけるシリア難民受け入れ問題について協議。
- 12日、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相は、国連人権理事会出席のためジュネーブを訪問。国連加盟国の人権状況を審査する「普遍的・定期的レビュー(Universal Periodic Review)」制度に基づく作業部会報告式に出席。
- 12日、コトロマノビッチ国防相は、当国訪問中のクルグ・オーストリア国防相と会談。二国間軍事協力の達成が両国にとって大きな影響力を持っている旨確認。
- 13-14日、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相は、NATO外相会合出席のため、トルコ・アンタルヤを訪問。
- 15日、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相は、ドゥブロブニク(当国南部)において、外務・欧州問題省およびゲイツ財団と共催した国際会議「欧州における開発援助の未来:官民パートナーシップを通じた女兒・女性の生活転換」を開催。
- 18-19日、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相は、EU外務理事会および欧州評議会閣僚委員会出席のためブリュッセルを訪問。EU外務理事会は、地中海における密航業者を粉砕するための海上作戦を設立する旨合意。
- 18-19日、グラバル＝キタロビッチ大統領、バルガ保健相、ブルドリャク経済相、クリソビッチ外務次官は、当国訪問中の天野国際原子力機関(IAEA)事務局長と会談。
- 21日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、当国訪問中のナヴラチチ欧州委員(教育・文化・青少年・スポーツ担当、ハンガリー出身)と会談。
- 21日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、オパティヤ近郊(当国西部)において、パホル・スロベニア大統領と非公式のワーキング・ディナーを実施。両者は、6月7-8日にモンテネグロのブトゥバで開催する「ブルドー・ブリュニ・プロセス」に向けた準備につき協議した。
- 21-22日、ミラノビッチ首相およびプシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相は、第4回EU・東方パートナーシップ首脳会議参加のためラトビア・リガを訪問。(注:東方パートナーシップには、ウクライナ、ベラルーシ、モルドバ、ジョージア、アルメニア、アゼルバイジャンの6か国が含まれる。)
- 25日、プシッチ第一副首相兼外務・欧州問題相はブルガリア・ソフィアを訪問し、プレヴネリエフ・ブルガリア大統領、クネヴァ副首相(EU政策調整・制度問題担当)、ミトフ外相、ツァचेヴァ国民議会議長らと会談。今後、EUメカニズムにおける両国共通の利益のために連携・協議することを確認。
- 27日、ミラノビッチ首相はカザフスタンを公式訪問し、ナザルバエフ・カザフスタン大統領およびマシモフ首相と会談(コトロマノビッチ国防相同行)。クロアチアは本年同国首都アスタナに大使館を開設予定。
- 27-28日、グラバル＝キタロビッチ大統領はバチカンを公式訪問し、フランシスコ法王に拝謁(28日)。また、教皇庁立セント・ジェローム・クロアチア神学院を訪問。

●28日、ロビニ市(当国西部)において、世界観光機関(UNWTO)の第100回理事会開会。歓迎夕食会にはミラノビッチ首相が出席。

●28-29日、グラバル=キタロビッチ大統領、ミラノビッチ首相、グルッチ地域開発・EU基金相、ラロバツ財務相は、当国訪問中のドムブロフスキス欧州委員会副委員長(通貨・社会対話担当、ラトビア出身)と会談。

## 経済

●6日、クロアチアを訪問していた国際通貨基金(IMF)ミッション調査団(4月22日よりクロアチア訪問)は、クロアチアの経済成長率について2015年を0.5%、次年以降は1.5-2.0%とした予測を発表。

●6日、クロアチア国鉄インフラ社は、同社およびクロアチア国鉄乗客輸送社、クロアチア貨物輸送社は、世界銀行と総額1.6億ユーロのプロジェクト融資の契約を締結したと発表。同プロジェクトは踏み切りの安全性向上、構脚橋の修復、駅の近代化等を目的としたもの。

●13日、欧州委員会は、ヨーロッパ・セメスターの一環としてEU加盟国の経済政策への提言を発表。クロアチアに対しては、①過剰財政赤字の是正、②罰金増額による早期退職の抑制、③マクロ経済状況に応じた賃金設定メカニズムの構築、④中央および地方政府間の冗長性排除・効率化、⑤司法制度の効率化、⑥破産前および破産処理システムの強化の6点を含めた提言を行った。

●26日、欧州委員会はEUの農業セクターの競争力の向上等を目的としたクロアチアを含む24の地域開発プログラムを承認した。右において、クロアチアは欧州農業農村振興金基金において利用可能な996億ユーロ(2014年から2020年間)のうち、2.6億ユーロを利用できる。

●29日、クロアチア統計局は2015年1-3月期の実質GDP成長率を公表した。今年最初の四半期は対前年比で0.5%となり、2四半期連続のプラス成長となった。右成長の内訳をみると、内需の寄与は0.47ポイントで家計最終消費支出が牽引、外需は0.01ポイントで、財・サービスの輸出増による。

## 主要経済指標

(2015年月次データ、対前年同期比(除く失業率)、政府統計局発表)

輸出総額 (3月)	輸入総額 (3月)	貿易赤字 (3月)	工業生産高 (4月)	インフレ率 (4月)	失業率(登録制) (4月)
+9.7% (197億クーナ, 25.7億ユーロ)	+7.2% (327億クーナ, 42.5億ユーロ)	3.6% (129億クーナ, 16.8億ユーロ)	+1.2% (3月:3.5%)	-0.1% (3月:0.1%)	18.4% (3月:19.7%)

本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものです。記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。